

## 大正区生活困窮者自立相談支援事業の実績

(単位：件)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<b>相談受付件数</b>		<b>346</b>	<b>284</b>	<b>270</b>	<b>290</b>
相談・支援結果	①情報提供・相談対応のみで終了	82	91	88	111
	②制度・他機関へのつなぎで終了	178	141	78	75
	③継続支援・プラン作成 (重複あり)	113	99	143	117
	一般就労達成	15	16	33	58
	生活保護受給	6	10	21	6
	家計の改善	1	8	12	4
	債務整理	0	4	0	0
	就職活動開始	1	1	10	3
	職業訓練の開始・就学	1	0	0	2
	就労収入増加	5	3	6	1
	職場定着	4	0	3	1
	医療機関受診開始	1	1	6	3
	健康状態の改善	7	5	3	3
	障がい者手帳取得	0	1	0	0
	住居確保・安定	9	10	6	3
	社会参加機会の増加	5	1	2	1
	生活習慣の改善	4	2	5	1
	対人関係・家族関係の改善	7	3	3	4
	自立意欲の向上・改善	25	11	11	7
	孤立の解消	1	2	0	0
精神状態の安定	13	8	10	2	
その他	8	13	12	18	

## 1. 相談件数

- ・ 事業が始まった平成27年度は、生活困窮者への新たな支援制度として注目されていた。
- ・ こうしたこともあり相談件数は346件と最多であったが、その後は300件弱で推移している。

## 2. 相談・支援結果

## ① 情報提供・相談対応のみで終了

- ・ 気軽に相談できる相談窓口として利用されており、件数は100件前後で推移している。
- ・ 相談の中には公共料金の支払い方法などを尋ねられるケースなどもあり、比較的軽度の相談が分類されている。

## ② 制度・他機関へのつなぎで終了

- ・ 制度発足当初は、一つの制度や一つの支援機関につなぐことで解決できていた相談内容も多かった。
- ・ しかし、近年では複合的な課題を抱えておられる方からの相談も多く、単純な「つなぎ」だけでは解決できないケースが増えており、結果として件数は減少傾向にある。

## ③ 継続支援・プラン作成 (支援結果は重複あり)

- ・ 顕著な事例では、「一般就労達成」に分類されるケースが増加しており、特に平成29年10月のハローワーク常設窓口設置の効果が如実に表れている。
- ・ 引き続きこの強みを生かして、相談内容 (いわゆる「入口」) の多くを占める経済的困窮 (収入や生活費、仕事さがし) に対応できるよう取り組んでいく。

## 3. 総論

- ・ 相談件数全体には大きな変動は見られないが、いわゆる「入口」は生活困窮者を取り巻く状況の変化にあわせて変動し、それに合わせて支援方法 (いわゆる「出口」) も変化してきている。
- ・ 今後は、自らSOSを発することができない方への対応とあわせて、ニーズに合った支援体制を構築していく必要がある。